



「キリン」橋本 賢二作

作家プロフィール

橋本賢二 パーキンソン病。1967年生まれ。20歳で発病。大阪芸術大学を卒業。2016年～「ありがとうファーム」で働き始める。生命力に溢れた絵を描き、見る人を勇気づけている。

絵はがき販売中です

ありがとうファームさんの全面的なご協力により広報誌表紙が絵はがきになりました。4枚1セットで500円です。



「誰一人取り残さない社会をめざして」

赤磐市長 友實 武則 氏

赤磐市長の友實です。我々が今取り組んでいる大きな仕事を紹介することで皆さんと広く連携や協力ができるようになればと思い今日は力を込めてここに来ました。

赤磐市が行っている大きな二つの取り組みを一言で表したら「誰一人取り残さない社会をめざして」です。県営の山陽団地、岡山ネオポリスを合わせると、赤磐市人口の約半分がここに住まわれています。住宅団地が移住者を受けいれているので、人口減少が緩やかな町ですが、今の行政には子育てに寄り添う相談ができる機関は見当たらない。どうにかして欲しいということで始めたのが、赤磐市子ども・障がい者支相談援センター（リンクステーション）です。困っている方々に寄り添って相談を受けるために専門職のスタッフを集めて始めました。訪問も積極的にやっています。20才くらいまでの子を対象にして、子育てと社会福祉の方面からの相談支援を柱に行ってきました。センターの職員も7年目にしてやっと体制が完成しました。専門職のみならず、資格があればいいというわけではありません。ハートのある相談員・社会福祉の専門を長年経験してきた職員を集め実施しています。相談の方法は様々ですが、子育て支援の昨年実績は811件、年々増えています。障がい者の相談では1432件、深刻な事例もあります。赤磐市のような小さな自治体でこれだけの相談があり、これだけ困っている人がいらっしゃる。これからもすそ野を広げて全国どこでもこういった相談コーナーがあるのが当たり前という社会を目指していきたいと思っています。

インクルーシブ教育についてお話しします。小学校と中学校はいろんな形の支援学級があり学校生活を送

れるので中学校までは安心して子供を預けることができる。しかし中学校を卒業すると普通の高校か支援学校に行くしかないが、支援学校に行くのは抵抗がある。普通の高校だと発達障害の子にとっては他を圧倒する成績を取める子もいるが、集団で生活することに大きな障害をもっている子が少なくない。なじめない子が残念ながら学校を中退する。もしくは自ら命を絶つことが起こっている。特に支援学級へ入ったら終わりというやり方ではなく、集団生活を温かく支援する、誰も取り残さない教育が今話題になっています。これを実際にやっている小学校中学校の事例を探しましたが手本にする学校はありません。ならば自分たちでやってやろう、ということで小学校と赤坂中学校でインクルーシブ教育を実現しようという取り組みを今始めています。子供たちの中で仲間外しされる子どもたちをいろんな形で支援し、子どもたち同士で優しく包み込んで受け入れていく。それを先生たちも学んで実践していく。予定では令和8年4月に三校統合して見込みで全校生徒130人くらい、小規模だからできる誰一人取り残さない小学校の創立を目指しています。理念としては「自立」「多様」「創造」です。ノートルダム女子大学の青山新吾先生と協働してあるべき姿を描き実践していこうとやっています。お願いがあります。皆さんがお住まいの市町でリンクステーションのような相談コーナーをぜひとも設けるよう市民の立場で声をあげて欲しい。さ迷っている多くの人にそっと寄り添う場所は社会には必ず必要で、赤磐市だけではなく全国で取り組みが進むよう岡山からの情報発信を強く望んでいます。

「知ることは、障害をなくす」

ありがとうファーム代表 木庭 康輔 氏
メンバー会委員長 富岡 千帆 氏

ありがとうファーム代表の木庭です。ありがとうファームで働くメンバー 富岡さん、ご挨拶をお願いします。

富岡：富岡と申します。今日お帰りになる時には障がい者の人ってこんな風に思っているのだなとか、こういう場面ではこういう風にして欲しいんだなと心のどこかにひっかかっていたら嬉しいです。私は難病です。日々いろんな症状がでてきます。そんな中でもなんとか働ける方法があるということでお話させていただきたいと思います。

木庭：（株）ありがとうファームは就労継続支援 A 型事業所、就労継続支援 B 型事業所、生活訓練、共同生活援助事業という 4 種類の福祉事業を岡山市北区表町で運営しています。今、障がい者当事者の方はものすごく増えていて、身体障がいをもった方が 436 万人、知的障がいをもった方が 109 万人、精神障がいをもった方が 614 万人となっています。4 人家族だとしたら 約 5000 万人の方が何らかの形で障がいと関わっていることとなります。私自身、知的障がいを持つ兄もいます。その兄も生きづらさを抱えていて、生まれてこなければよかったと言ってむせび泣くところを何回も見ました。今回の「知ろうよ、つながろうよ」というタイトルはすごくいいなと思いました。お互いのことを知っていくことで健常者と障がい者との間にある壁、偏見が無くなっていく、そして深くつながっていく。ありがとうファームの活動のスローガンは「知ることは障がいをなくす」です。まず自分たちは、生き生きと堂々と人生を生きていく。そして私たちがこのスローガンを社会に発信することで、障がいのあるなしにかかわらず、皆が社会貢献できるような共生社会の実現を考えています。皆さん、障がい者ってどんなイメージがありますか？ 家に引きこもりがちとか何を考えている

か分からないと思っている方もいるかもしれないです。「障がいをもっていることを恥ずかしがっていて自分の思いや考えを伝えようとしなかったら、その絵は価値がないんだ、これまで障がいに悩み苦しんできたかもしれないが、その中で絵に対して誠実に、買ってくれた人に喜んでもらいたいという思いが伝わった時に初めて絵は価値がでるんだ」との創業者の思いに共感したメンバーが、今ではたくさん自分の思いや姿を絵画を通して発信しています。障がいを持った人が堂々と顔をだして、会社の思いに沿って、自分らしく働いてくれています。メンバーの一人、橋本さんのアート（広報誌 81 号の表紙）のテーマは希望です。自分が絵を描くことでたくさんの人たちに明るい気持ちを与えられるような作品を作りたいと言われていました。橋本さん自身が絵を通して人の役に立てるということに喜びを感じ、今では生き生きと毎日楽しく働いてくれています。また、障がいをもったメンバーが講師として子どもたちに物づくりを教えています。不登校だったメンバーもありがとうファームでの仕事を通して、誰かの役にたてるということに生き甲斐をもち、今では毎日出勤することができています。また約 20 名が在宅勤務です。富岡さんも在宅ですが、在宅勤務で感じていることなどあれば紹介してください

富岡：助かったのは収入を失うことがなかったことです。会社への質問もすぐ連絡がとれるので孤立感、孤独感は感じたことがありません。

木庭：メンバー達は自分だけが幸せだったらいいではなく、困っている人達に対して、自分たちの仕事を通して何か社会貢献、恩返しできないかという思いを持っています。他の団体さんと連携して 100 人の家族を招待して、無料で食事、ワークショップを楽しんでもらい、家族の思い出作りにも貢献しまし

た。また、障がい者の真の姿と声を届けるという趣旨でイベントも開催しています。障がいをもった当事者たちが一年間の自分の仕事の成果や成し遂げたこと、成長したことをしっかりと社会に発信します。当事者たちが赤裸々に自分たちの思いや姿を発信する白熱トークライブも開催します。

富岡：毎回多彩なゲストをお迎えしての白熱トークライブなので専門的知識とか具体的なアドバイスとかを聞けるいい機会なんですけど、私たちも「えっ、あなたそうだったの」というカミングアウトも聞けたりして、お互いを知り、尊敬しあえることができます。

木庭：仕事を通して、誰かの役に立ちたい。そういった思いを実現できる環境さえあれば、障がいにかかわらず、自分のもっている能力を発揮して、社会の

一員として活躍することができると思っています。富岡さん、実際障がいがあった時に自殺を考えたことがありますか。

富岡：自殺は考えました。ああいう感情は一回おこると、どこからか湧き出すような感覚です。どこで収まったのか考えてみたら、委員長を仰せつかった最近です。仕事をすることによって忘れる。その忘れるが生きる力になった。会社が仕事を作ってくれるということに感謝しています。

木庭：私たち自身が、彼女の言葉や姿勢から大切なことを教えてもらっているなど日々感じています。ぜひ、周囲の方々と一緒に表町に遊びに来て、そして障がいをもったメンバーたちの姿を見てください。

会場からの質問に答えて（抜粋）

会場：不登校児に対する支援について教えてください。

友實：桜が丘中学校ではルールを生徒が定めるやり方で中間や期末のテストがなく宿題も基本自主勉強です。生徒が自分で行動し、その行動に責任を持つということを定めてやっています。その子が復帰した時は先生や支援員みんなで温かくフォローする体制を作り、山を乗り越える手伝いをしています。

会場：誰ひとりに外国人は含まれていますか？特に子供たちや親への日本語学習への支援は？

友實：外国人、特にベトナムの方が多いです。両親は研修を受けてある程度日本語を習得しています。子どもは地域の子をみんなで育てるといった環境です。交流は比較的活発に行えています。

会場：ありがとうファームへの新規利用者の方々はどのような方法で参加されていますか。

木庭：大きく分けて3つあります。まずハローワー

クからの紹介、相談支援委員からの紹介、そしてB型事業所からA型事業所にステップアップする方がいます。

会場：メンバーさんの平均賃金はどのくらいなのでしょう。

木庭：平均月の労働日数が22.5日 約90時間くらいの方が多くて 岡山市の最低賃金が932円なので 皆勤賞で85,000円とかです。障がいの程度によって障がい年金支給もありますが、2級で2か月に1回13万円くらい入るので、それを合わせて生活しているメンバーが多いです。年金をもらえないメンバーに関しては生活保護を受給している方も数名おられます。

会場：障害を持つ方の特性、魅力の引き出すための方法としてコミュニケーションの仕方は？

木庭：個人として意識しているのは、障害そのものに囚われてしまって、その人を見なくなってしまう

だということです。一人一人を見て何が得意でどんなことをして人の役に立ちたいのかなと考えます。マルチタスクじゃなくてひとつでも得意や出来るを生かして、生き生きと働いてもらえる環境ができればいい。当事者が活躍するためにもできることを一つずつ増やしていけるような支援が求められていると感じています。

富岡：場が読めなくて会社では嫌われるような人でも白熱トークでどんどん意見を言ったり、催し物があるとき司会をかってでるとか、恥ずかしいという感覚がない。そういう人にはそういう場で出てもらってみんなを引っ張ってもらう。誰がどうしているという説明は難しいですが、ありがとうファームは毎日の生活の積み重ねによって、魔法にかかるような雰囲気が生み出される場所だと思います。

会場：ひきこもりの人をどのようにつなげていいかわからない。作業所の人間関係で行きたくない人に対してどのようにいえばいいか。

友實：小中学生が不登校になって引きこもりになるのはそうめずらしくないが復帰することも少なくな

い。その子も学校に行っていないことはかなり負担になっている。学校、家族、支援員の方々に話し相手になることから始めてかなり時間をかけてケアをする。

木庭：ケースバイケースですが、仕事にきているのだからと諭してわかってくれる人には直接ぶつかっていきます。うちにはいろんな店舗がありますから、場所とか時間をかえるとか配慮はしています。がこれでいいのかと思うことは多々あります。メンバーが一般企業就職して退職する理由のほとんどが人間関係です。人間力を身に着けることができる機会を与えるのもA型事業所に求められていることなのかと感じています。今後の課題です。その方が最終ゴールをどこにおいているのか、一般企業に就職したいと思っているなら、一般企業はもっと厳しいと伝えてほしいし、その人が毎日決まった時間に行くことを希望しているなら、職員さんに相談してみますか、場所を変えてみますかとはたらきかけてみる。究極、全ては人間関係なんだなと仕事を通して感じているところです。



電話相談統計（2023年1月～12月）

有効受信件数 17,727 件	・男性 8,848 件 ・女性 8,792 件 ・その他 87 件
自殺関連件数 2,270 件	・男性 997 件 ・女性 1,267 件 ・その他 6 件

フリーダイヤルでは
自殺関連相談が多いです。

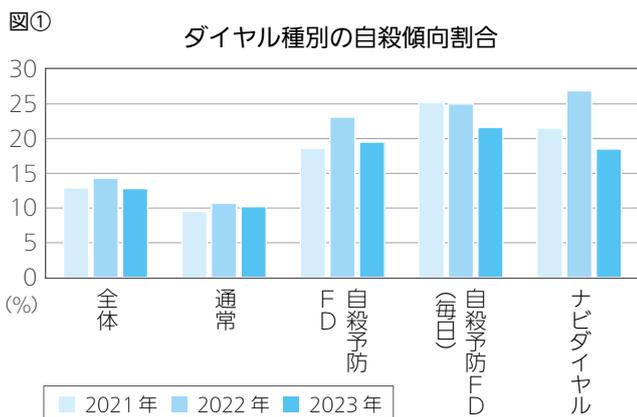
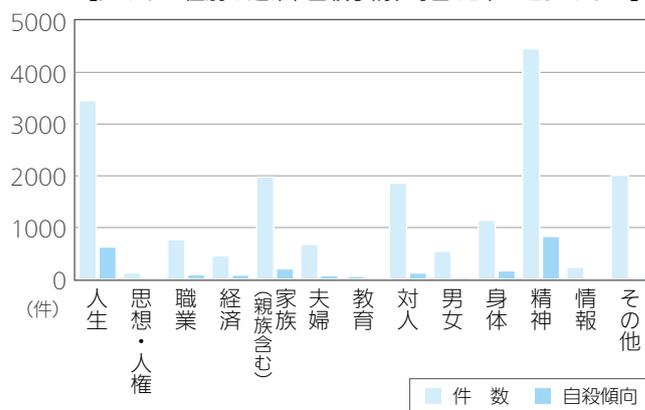


2023年に岡山いのちの電話が受信した相談件数は17,727件でした。

自殺関連件数は2,270件（対受信率12.8%）、そのうち420件が深夜帯の相談です。

自殺傾向割合をダイヤル種別で見ると図①のとおりです。

図② 内容別受信状況 2023年01月～2023年12月
【ダイヤル種別：通常、自殺予防、毎日FD、ナビダイヤル】



通常電話よりもナビダイヤル、フリーダイヤルでの自殺傾向割合が高い。毎日10日のFDや毎日FDが、悩みをかかえる人々に寄り添い、自殺を予防する活動の役割を果たしていると言えます。相談内容別受信件数と自殺傾向割合は図②のとおりです。

2023年は前年（2022年）から10人減少の123人の実働相談員でしたが、相談員一人当たりの受信件数は144件と前年を上回っています。これはひとえに相談員一人ひとりの頑張りによるところが大きいといえるでしょう。

なお、2023年の受信件数は全国では7番目の多さでした。（統計部）

相談電話

(086)245-4343

24時間 年中無休

- フリーダイヤル **毎月10日** (0120)783-556
- 毎日フリーダイヤル **毎日** (0120)783-556
- ナビダイヤル **24時間** (0570)783-556

毎月10日8時～11日8時まで
通話料無料
毎日16時から21時まで
通話料無料
年中無休（通話料有料）

2023 年度決算報告及び 2024 年度予算

		(単位：円)	
	摘 要	2023年度決算	2024年度予算
事業活動収入	事務費収入	0	5,000
	受講料収入	220,000	160,000
	自殺予防シンポジウム (公開講演会)	33,000	200,000
	バザー	65,000	
	研修参加費	111,000	100,000
	受託金	3,300,000	3,300,000
	地方公共団体補助金	290,000	290,000
	連盟補助金	243,260	250,000
	その他の連盟補助金		1,400,000
	維持会費収入	2,121,000	2,500,000
	賛助会費収入	2,549,641	2,500,000
	その他寄付金 (共同募金他)	1,600,000	1,500,000
	運用収入	1,127	1,000
	雑収入	2,500	9,000
	収入計	10,536,528	12,215,000
事業活動支出	給料	2,366,000	2,366,000
	賃金	720,000	720,000
	法定福利費	410,738	450,000
	福利厚生費		900,000
	研修費 図書	15,620	30,000
	研修費 養成講座	1,522,612	1,450,000
	研修費 継続研修	399,000	400,000

		(単位：円)	
	摘 要	2023年度決算	2024年度予算
事業活動支出	研修費 全体研修	836,980	850,000
	研修費 自主研修	202,666	230,000
	自殺予防シンポジウム (公開講演会)	326,260	450,000
	旅費・交通費	225,990	250,000
	備品費	0	100,000
	印刷費	418,165	450,000
	一般物品費	26,489	150,000
	手数料	354,560	400,000
	通信費	236,230	230,000
	光熱水費	378,049	450,000
	会議費	0	10,000
	借料・会場費	0	50,000
	借料メンテナンス費用	626,883	800,000
	修繕費	40,810	50,000
雑費	287,778	300,000	
連盟負担金	130,000	170,000	
市民公開講座	625,533	600,000	
保険料	70,720	100,000	
	支出計	10,221,083	11,956,000
	事業活動資金収支差額	315,445	259,000
支出	施設整備等支出	0	0
	退職給付引当資産支出	180,000	180,000
	当期収支資金差額合計	135,446	79,000

事務局日誌

2023 年 12 月～

2023 年 12 月 22 日	講師派遣 岡山刑務所 (年間で 12 回 草刈)	3 月 21 日	第 40 期岡山いのちの電話相談員認定式 / 迎える会
2024 年 1 月 17 日	講師派遣 矢掛町立矢掛小学校 (安原)	3 月 22 日	講師派遣 早島町栄養委員会 (平松)
1 月 21 日	日本いのちの電話連盟理事会 (堀井)	3 月 23 日	評議員会 (事業計画・予算案)
1 月 25 日	講師派遣 備前市 (堀井)	3 月 27 日	苦情解決第三者委員会
1 月 26 日	講師派遣 岡山刑務所 (草刈)	3 月 31 日	日本いのちの電話連盟理事会 (堀井)
1 月 28 日	養成講座募集説明会 (草刈、福田、森、前田)	4 月 1 日	FIND 電話相談事業委員会 (WEB)
1 月 30 日	講師派遣 井原市 (草刈)	4 月 11 日	第 41 期生養成講座 開講式・第 1 回講義
2 月 1 日	総社市自殺対策連絡協議会 (草刈)	4 月 12 日	日本いのちの電話連盟臨時理事会 (堀井)
2 月 2、17 日	FIND オンライン交流会 (WEB)	4 月 23 日	内部監査
2 月 7 日	講師派遣 井原市民生委員協議会 (草刈)	5 月 9 日	西大寺ライオンズクラブ (藤井)
2 月 18 日	養成講座募集説明会 (森、前田、出石)	5 月 11 日	理事会 (事業報告・決算)
2 月 26 日	講師派遣 里庄町 (草刈)	5 月 24 日	日本いのちの電話連盟理事会 WEB (堀井)
3 月 8 日	講師派遣 高梁市川上地区愛育委員会 (藤井)	5 月 26 日	定時評議員会 (事業報告・決算)
3 月 10 日	理事会 (事業計画・予算案)	6 月 1 日	岡山いのちの電話協会総会
3 月 16 日	第 41 期相談員養成講座面接 第 40 期相談員認定会議	6 月 15 日	日本いのちの電話連盟理事会

第 40 期生 8 名が 4 月から相談員に加わりました。
第 41 期生 8 名で養成講座が開講しました。

資金ボランティア大募集！

あなたのご支援で私たちの活動が支えられています。寄付金控除も受けられます。ぜひよろしくをお願いします。

●維持会員

個人A	年額	2,000円
個人B	年額	3,000円
個人C	年額	5,000円
個人D	年額	10,000円
団体	1口	10,000円 何口でも

●賛助会員

折々に自由な金額でご寄付下さる方。
お誕生、お香典返しなど折々に頂けますと幸いです。

●寄付金控除について

- 法人は、「特定公益増進法人」への寄付金として、一定金額内で損金算入ができます。
- 個人は、「特定寄付金」として、支出寄付金額から2,000円を控除した金額と総所得金額の40%の少ない金額の範囲内で寄付金控除の対象になります。
また寄付をした翌年1月1日に岡山市に在住の方は住民税の寄付金税額控除が受けられます。

お振込先	郵便振替	01260-4-15857 岡山いのちの電話
	銀行振込	中国銀行大元支店 普通預金 1223257 社会福祉法人岡山いのちの電話協会 理事 堀井茂男

幸せの黄色いレシートキャンペーン

2023年度分としてイオン 38,600円、マルナカ 58,800円いただきました。文具や日用品に使わせていただきました。

ご協力ありがとうございました。

赤い羽根共同募金

「地域ささえあいプロジェクト」にご協力ありがとうございました。

2024年1月1日～2024年2月29日の取り組みでは、皆様から759,520円のお振込みがあり、5月には860,000円の助成金をいただくことができました。ありがとうございました。
いっそう力を尽くしたいと思います。

岡山いのちの電話市民公開講演会「こころの力」

日時：9月8日（日） 14時～16時

会場：ピュアリティまきび

講師：井上 真一郎 氏（新見公立大学）

「健康を保つために知っておきたいこと～不眠、うつ病、アルコール依存症・・・～」

定員：100名 *要申込。チラシをご確認ください。

入場無料

岡山いのちの電話開局40周年記念 第37回 岡山自殺予防公開講演会

日時：10月27日（日） 13時～16時

会場：ピュアリティまきび

講師：高橋 美清 氏

「一隅を照らす～諦めず生きる～」

定員：200人 *要申込。チラシをご確認ください。

参加費 500円

講師派遣をご依頼ください

ゲートキーパー研修、人権教育、いのちの授業に「いのちの電話」が講師を派遣します。
お問い合わせは事務局まで。

発行 社会福祉法人 岡山いのちの電話協会

発行者 堀井茂男

編集 岡山いのちの電話協会広報部

事務局 岡山市北区上中野 1-3-5

TEL 086-245-4344 FAX 086-245-7743

ホームページ <https://www.okayama-inochi.jp>



赤い羽根共同募金「ささえあいプロジェクト」の助成金をいただいています。